



生徒全員が主役の文化祭を 小絹中文化祭でビッグアートを制作

小絹中学校の文化祭「^{そうむさい}創夢祭」が10月23日に開催されました。感染症対策のため内容をリニューアルし、学級紹介動画とビッグアートの制作発表、イメージキャラクターの投票を行いました。実行委員長^{ふるさわあい}の古澤愛華さんは「皆の楽しそうな笑顔が見れた。紹介動画にも全員が映り、全員が主役になれた」と話し、生徒会長^{なかきほやと}の中荻駿斗さんは「創夢祭がなくなってしまう心配のある中、伝統を途切れさせたくなかった。例年と違う形で盛り上がった」と満足した様子で話してくれました。



画面越しに伝える伊奈中への熱い想い オンラインで生徒会立会演説会を実施

伊奈中学校で11月5日、生徒会立候補者による立会演説会がオンラインで実施されました。今回は来年入学予定の小学校6年生にも生徒会や立会演説会の様子を知ってもらうため、伊奈中の生徒だけでなく学区内の4小学校にも配信されました。選挙管理委員長を務める3年生^{さとうゆうしょう}の佐藤勇翔さんは「今年度は立候補者が多かった。この立候補者たちが今後の伊奈中を引っ張っていくことになる。頑張ってもらいたい」と期待を寄せました。



距離を超えて技術を磨き合う 谷和原中がオンラインロボコンに参加

谷和原中の科学技術部（木工班、プログラミング班、ロボコン班）が11月3日、自作ロボットの性能を競い合う「お家でロボコン@オンライン」に参加しました。この日は、つくば市や福岡市（博多区）の中学校など7つの中学校が参加。ロボットを操作して缶を積み上げる種目で競い合いました。部長^{とがし}の富樫一仁さんは「完成前からオンラインミーティングで互いの学校をつなぎ、他市の人たちのロボットを見て、アイデア交換したり意見をもらって良い機会だった」と、振り返り話しました。

日頃の練習の成果発揮して 県新人大会に出場する部活動を激励

茨城県新人体育大会に出場する部活動の生徒を激励するため10月21日と22日に、小田川市長と福田教育長が市内の4中学校を訪れました。各学校で一生懸命、部活動に励む生徒たちを見学した小田川市長は「今年はコロナ禍で多くの大会が中止になりました。日頃の練習の成果を活かして、いい結果が出るように頑張ってください。市の代表としての県大会での活躍を期待しています」と、生徒たちを鼓舞しました。



県新人体育大会に出場する生徒たち（写真は伊奈東中学校）